

スターチス「アイスター」シリーズの培養による種苗生産技術

岩手県オリジナル品種「アイスター」シリーズ（5品種）の培養を用いた増殖及び順化方法を明らかにし、良質な種苗の生産技術を確立した。



アイスター・ロージーピンク

技術の特徴

初代培養は、花穂部分（図1・左）を材料とし、分化した植物を繰り返し増殖に用いる。

初代培養以降は、培養容器のふたに通気膜を使用すると良苗が生産できる。

初代培養後の各々のステップは1ヶ月とする。



図1 （左）初代培養に使用する花穂部分
（右）増殖の状態（増殖開始1ヶ月）

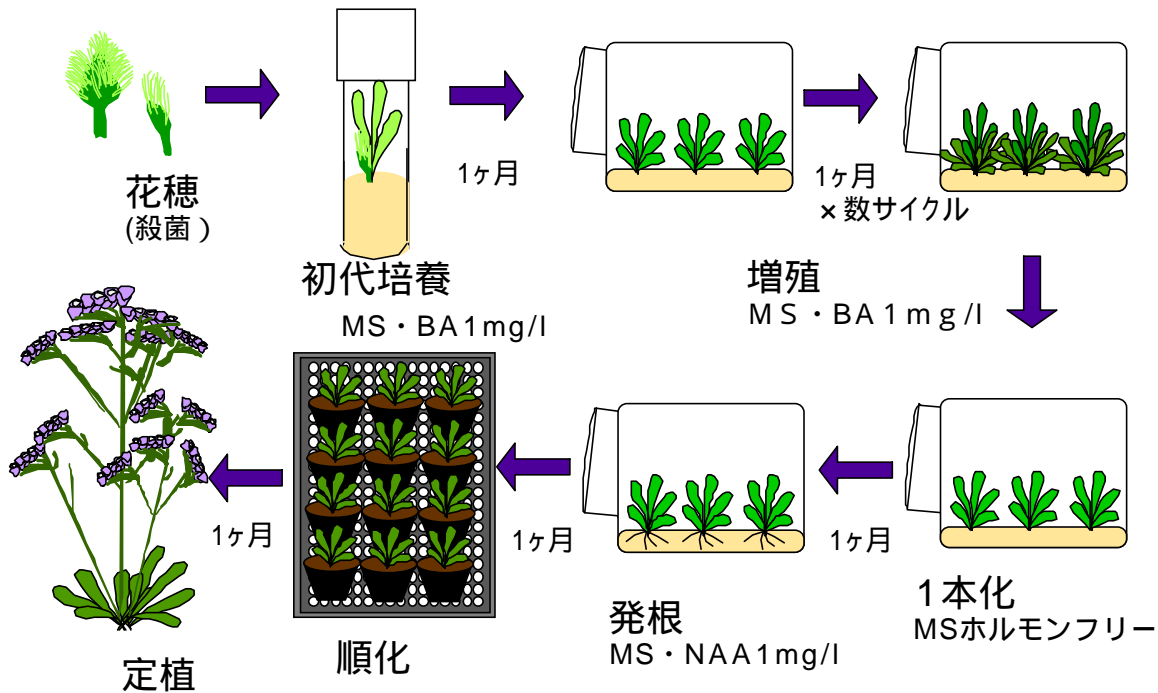


図2 アイスターシリーズの増殖法の流れ